

2/28・3/1 | 公民館まつり 学びの成果が百花繚乱
多彩なステージと展示で楽しく交流

町内で活動するサークル団体の皆さんが、日ごろの学習成果を披露し、生涯学習への理解を深める場として「第9回与那原町公民館まつり」（主催・町教育委員会）を町コミュニティセンターで開催しました。

会場では、書道や絵手紙、フラワーアレンジメントなど、多彩な作品を展示しました。1日の午前には「放課後子ども教室きら☆きらり」の子どもたちが、成果発表として琉球舞踊やダンスなどを披露しました。午後からは心安らぐ呈茶席体験と、サークル団体の皆さんによる舞台発表を実施。ステージでは三線や琉舞、フラ、オカリナ、空手、太極拳など多岐にわたる演目を披露。出演者の皆さんは練習の成果を存分に発揮し、サークルの枠を超えた温かな交流の輪を広げました。



2/22 | 北海道での学びと成長を報告
青少年人材育成交流事業 報告会

町青少年人材育成交流事業の一環として、1月29日から4日間、子どもたちが北海道・浜中町を訪れ、現地での交流やさまざまな体験活動に参加しました。その後、町コミュニティセンターにて活動を振り返る報告会を開催しました。

はじめに、主催の与那原町子ども会育成連絡協議会・松長会長による事業報告の後、派遣された子どもたちへ教育長から温かい激励の言葉が贈られました。

報告会では、子どもたちが活動の様子をまとめたスライドショーを上映しながら、現地の方々や茶内中学校の生徒との交流、初めての体験を通して得た学びや感動を生き生きと振り返りました。「活動を通じて大きく成長できた」と力強く語る姿に、会場からは大きな拍手が送られ、とても充実した報告会となりました。



2/20 | 地域の安全がさらに強固に
日本損害保険協会が
消防車両を寄贈



東部消防本部構内で、一般社団法人日本損害保険協会による小型動力ポンプ付軽消防自動車の寄贈式が行われました。

寄贈された車両は、軽四輪駆動車をベースにした県内でも珍しい軽デッキバンタイプの消防車です。狭い道路や住宅密集地でも走行しやすく、小型動力ポンプを搭載していることから、迅速な初期消火や救命活動での活躍が期待されます。

式典では、消防関係者が真新しい車両を前に地域を守る決意を新たに、地域防災力のさらなる向上を誓いました。



令和7年度「町学力向上推進実践発表会」
「与那原町教育の日」表彰式

2月8日、与那原東小学校体育館で、令和7年度「与那原町学力向上推進実践発表会」ならびに「与那原町教育の日」表彰式を開催しました。会場には約280人の教育関係者らが集まり、幼稚園・小中学校・教育委員会学校教育課・PTA大見武支部などによる学力向上推進実践発表に熱心に耳を傾けました。また、町主催の県内ホームステイに参加した15人の生徒を代表して、与那原中学校の大木ひかりさんと琉大附属中学校の守屋良太郎さんが報告を行いました。この体験を通して、より一層外国語に興味を持ち関心を寄せている姿が伺えました。

最後に「与那原町教育の日」表彰式が行われ、表彰規定を満たした個人80名と7団体に与那原町学力向上推進協議会の垣花英正会長から表彰状が手渡され、会場は温かい拍手に包まれました。



写真左から守屋良太郎さん、大木ひかりさん



PTA大見武支部による発表



2月1日は「与那原町教育の日」です。児童生徒80人・7団体を表彰しました

2/1 | 冬の澄んだ空気の中
378人が町内をウォーキング！

町民のスポーツ意識の向上と健康・体づくりを目的に「第18回よなばるてくてくウォーク2026」（主催=与那原町・町教育委員会）を与那古浜公園を発着点に開催しました。

コースは、無理のないペースで景色を楽しみながら歩く「ベイサイドコース（5km）」と「マリントウンコース（3km）」を用意。子どもから高齢者まで計378人が参加しました。

朝は曇り空で天気が心配されましたが、何とか持ちこたえスタートからゴールまで歩きやすい天候のもと開催できました。

ウォーキング終了後は企業5社の出展ブースや健康保険課による健康相談、町スポーツ推進委員協議会による軽スポーツ体験などが行われ、参加者からは「これまで知らなかった町の魅力を知ることができた」「これを機にウォーキングを続けようと思った」などの声が寄せられました。

